



<ベトナム・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2020年1月7日

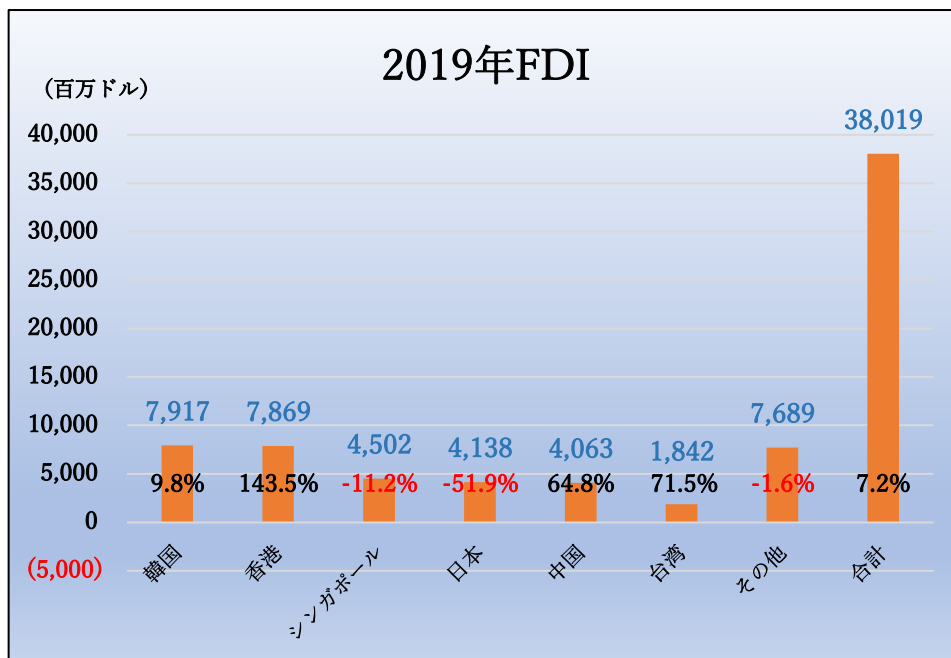
ベトナムの2019年FDI

2019年に認可された海外直接投資(FDI)と、外資によるベトナム企業への出資・株式取得は金額ベースで前年比+7.2%増の約380億ドル(約4.2兆円)だった。新規投資認可額は同-6.8%(約168億ドル)だった。1件当たりの平均投資額は430万ドルと前年の590万ドルから減少した。

一方、出資・株式取得(金額ベース)は+56.4%(約155億ドル)と急増した。FDIに占める出資・株式取得の割合も、前年の27.9%から40.7%へと拡大した。

国・地域別では、韓国が認可額約79.2億ドルで、FDIの20.8%を占め、3年ぶりに首位となった。2位の香港は約78.7億ドル。3位はシンガポールで、約45.0億ドルだった。昨年まで2年連続で首位だった日本は大型案件に欠け4位の約41.4億ドル。省市別にみると、ハノイが約84.5億ドルで全体の22.2%を占めて首位だった。2位はホーチミン市で約83.0億ドルだった。以下、南部ビンズオン省、同ドンナイ省、北部バクニン省、同ハイフォン市が続いた。

なお2019年のFDI実行額は前年比+6.7%の約204億ドルに拡大している。



出所：FIA のデータを基にキャピタル アセットマネジメントで作成

以上